
高校生日記

63171014

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生日記

【Nコード】

N7585W

【作者名】

63171014

【あらすじ】

性別 男

年齢 16歳

職業 高校生

部活 男子バドミントン部

趣味 ギター 折り紙 読書

実際 エッセイと呼べるかどうか・・・

7月（夏休み1）

7月23日 土曜日 晴（最近の夕日はきれい）

今日は『夏休み』初日。

3学年通して講習があるため、いつも通り6時半に起床。

朝食は一昨日の残り物の『ゴーヤチャンプル』。

豚肉とゴーヤ、もやしが互いに良い味を引き出し合い、とても美味しい。

ゴーヤの苦味は疲れた体に効果があるらしい。

講習の1時限目は『英語』。

今回の担当の講師（教師）は男の先生で少し苦手な人だ。よくかむし言い間違うことがけっこうあるからだ。

2時限目は『古典』。

僕が勝手に『オジキ』とひそかに呼んでいる先生で、怒ると恐い人だ。

3時限目は『数学』。松久先生（男）という方で、初めての授業だった。

（上の2人は普段の授業の先生である）

背はそれほど高くなく、肩幅も広くない。

どちらかと言うと、小動物みたいな感じがした。

授業は『発展コース』と言う

（定期考査である点数以上とそれ以下の生徒で分けられるらしい）
分類で、内容は『4次式の因数分解』『二重根号・三重根号』だった。

説明は必要のある箇所を説明し、解らない人がいれば個人的に教える。

僕はこのようなタイプ授業の方が好きだったりする。

先生が黒板に字をかく時、手をピンツと伸ばす仕草がとても可愛い（多分、僕だけが思うこと）。

その後、母さんが作ってくれたおにぎりを部活の先輩達と一緒に食べ（味はとても濃かった）、部活に参加した。

まだ膝の調子が悪く、マネージャーとして働いた。

今日はランニングの付添いをした。

百年記念塔と呼ばれる場所まで3往復するのは以外と疲れた。

今日は3年生の先輩の打ち上げで、学校へ戻る時マネージャーの人は、キャッツ・アイに向かっていた。

部活が終了して、同級生と一緒に帰宅をした。

家に着いてから、携帯電話の電源を入れると、メールが2件届いていることに気がついた。

1件はa uからのメールで、どうでもいい。

もう1件の方は、同じ中学校の女子からだった。

「ろくじごろ こうえんにきて」

と、なぜ全部平仮名？と疑問に思いつつ、

「なんかあるの？」

と返信。1分の間もなく、

「会いたいな（笑）」

と来た。とりあえず向かうことにした。

公園に到着したが、メールの主はおらず、

「今 どこ？」

と送信。するとすぐ、

「すぐ、つく」

と。

ベンチに腰かけていると、携帯電話に着信有り。

「もしもし？」

「今 どこにいるの？」

とメールの主かと思ったが声が違う。

いつも一緒にいる3人組の1人だった。

「時計の下」

と、簡潔かつ単純で、解りやすい答えをすると、

「遊具の方」ぷつつ。

電話を切られた。おいおい。

言われた通り、遊具の方にぶらぶらと寄ると、

いつもの3人組がそこにいた。

電話してきた女子は、通っている学校の制服のまま。

メールしてきた人のふたこの妹は、おしゃれをした服装。

結構可愛い。

メールしてきた本人は……おしゃれ感、皆無の服。

話をすると、おしゃれ感、皆無の女子が今日、彼氏と会つらしい。

リア充め……！

でもなんで会うのにおしゃれとかしないの？と胸の中で疑問を抱いた。

女子3人男子3人とちょうどバランスの良い人数になり、

「高校はどうだ」

「クラスメイトが面白い人だ」

「学校祭は楽しかった」とか色々なことを2時間くらいしていると、親からメールが届いた。

「何時頃帰ってくるの？」

時計を確認すると8時40分。

高校生にとってはまだ活動している時間なのだけれど、途中退席を強いられた。

「また今度ね」、と別れを告げ僕は家へと向かった。

7月26日 火曜日 晴 （最近、凄く眠い）

23日からの講習も明日、27日（これを書いている時点では今日）でやっと終わる。

英語、古典、数学の無限ループとも思える地獄の5日間とはこれでおさらばだ！

…… だけど夏休みの課題はたくさん出題されている。

流石、進学校め（皮肉）！

だけど『数学』は半分近く終わっているから少し余裕はある。

あと、『英語』は講習で使うテキストを看破し、物語を読みその感想を書く。

『国語総合』は「高瀬舟」の読書感想文をA4の紙に印刷して提出。
『現・社』はプリント12枚、普通かな……？

『家庭科』は年配の方に話を訊かせてもらうという、ありきたりなもの。

正直、だ・か・ら・な・に？

と、沢山の宿題があるなあと思った。

7月27日 水曜日 曇（後雨、後晴）

講習最終日。

地獄の5日間は終わりを告げ、同時に安息の夏休みが始まった。

部活開始前、次期部長の話をした。

それと、今現在の僕のポジションについて。

僕は部員でもなければ、マネジャーでもない。

『ママ』という役職。んなもんあるのかな？

ちなみに今日はマネジャーが4人中3人が欠席し、そのため手伝った。

特にこれといったことがないので、今日はこれで終了。

7月28日 木曜日 晴

うだるような暑さから来る疲れの所為なのか、朝目覚めた時からのコンディションは最悪。

朝食を摂った後、ただただそれが当たり前の、当然の行動で、しかるべくして起こる動作であるようにベッドへ直行した。

部活が8：30からなので、目覚ましを7：40にセットして、眠りについた。

当然といえば当然なのだけど、時間通りに起きられる訳もなく、まあ、寝過ぎした。

気付くと、デジタル時計は8：15を表示していた。

慌てて自転車で全力疾走するものの、遅刻確定なのになぜこんなにも頑張るのかというと、特に意味はない。

結果、間に合った。これには正直驚いた。

いつもの登校では、絶対に20分はかかっていたはずなのだけれど、あるうことか、それを10分でなしとげてしまったのだから！だけどきちんと早寝早起を心がけていれば、こんな徒労である無駄な行為をしないで済んだのだから。

部活は例のごとく、マネジャーの手伝い。

家に着くと、どうしようもない疲労感が全身を襲い、夕飯を食べた後の午後8：00にはベッドに潜っていた。

7月29日 金曜日 快晴（最近蒸し暑い）

今日の部活は午後からだだったので、いつものように6：30に朝食を済ませた後、最高の2度寝を開始した。

……当然ながら、寝過ぎし、ぎりぎり10分で学校についた。なんかこれに慣れつつある自分がある気がするがして残念である。

部活ではマネさんが2人欠席

（1人は家族でデズニランド、1人は彼氏と花火大会を見に……）途中で1人帰り、最後まで残るというより、実質今日のマネさんは1人だった（マネさんは全員で4人）。

まあ、なんというかまたお手伝い。

ノック終了後、ゲーム練習となり、僕も参加した。

思っていたより動けたし、打てた。明日から練習を再開しよう！とやる気満々だったのだけれど、7月の部活は今日で終了。

次回は8月というとても残念極まりないお知らせとなった。

家に帰ると疲労からか、まず寝た。

7月30日 土曜日 部活無し

夏休み始まってから初の部活無し。今日はなにしようかなあ、と思っていたが、午前中は爆睡。

気が付けば午後になっていた。もっと時間を有効活用したいと思えた。

6時以降になると、近くの公園から太鼓の音が聞こえ始めた。

夕飯にカレーを食べた後、財布を持って足を動かした。

同じ中学校卒業生が沢山いて

「久しぶり〜」などの声を何度も聞いた。あと、「痩せた？」とも言われた。

財布を持っているからといって、別に欲しい物がある訳でも、食べたい物がある訳でもなかったなので、ポッケからは出さずにいた。

みんなとは色々な話をした。本当に色々な話をした。

7月31日 日曜日 部活無し

特になにかをする訳でもなく、だらだらと1日を過ごした。

8月（夏休み2）

8月1日 月曜日 部活有り

2日振りの部活は大変疲れた。というより、調子に乗り過ぎていたorz

デイズニールランドへ行ったマネさんからのおみあげをみんながいだいた。

おかしだったので、家に帰ってから牛乳と一緒に頂た。
ほどよい甘さが牛乳とマッチしてとてもおいしかった。

8月2日 火曜日 部活有り

今日の部活は体育館全部を使えた。

その分練習はきつくなり、かなりしんどかった。
体力のなさを改めて痛感した。

8月3日 水曜日 部活有り（2、3年先は講習有り）

1年生は講習がないので午前中はフリー。僕は午前0時以降に小説を読み始め、止まらなくなり、気が付くと午前4時。

あれ？なんだかお外が明かるいな……？などと思っていた。

絶対この時間じゃ寝られないよ、
と思いながらベッドに潜ると10秒もしないで深い睡眠に入ってしまった。

今日は保護者懇談（生徒の保護者と担任の先生との懇談）があり、父の勘違いにより、僕も出席した。

担任の先生から色々な僕にとってありがたいお言葉を頂いた。
ちよっと恥ずかしくなって照れたりした。

口許がにへらつと開いてしまう感じだ。

人に褒められるのは本当に嬉しいことだけど、恥ずかしくてしょうがない。

懇談が早く終わったため部活まで少し時間があまった。

トイレへ向かう途中に部員に会ったので部活までの間色々な話をした。

その後の部活で記念塔まで走ることになったのだが、また膝を痛くしてしまったorz

外ランをする度に足を痛めるのであれば、しない方が良いのかもしれないと僕は思う。

8月4日 木曜日 部活有り 暑い日だった

1年はノックをし続けた。

8月5日 金曜日 部活無し

今日は部活がないので中学の友だちと会うことにした。

10時から12時までずっと色々な話をしていた。

高校生活はどうだとか、勉強がめんどくさいとかなどなど。

午後本屋さんに寄ろうとしたが、突然の雨により諦めることにした。

8月6日 土曜日 部活有り

深夜3時までゲームをやり、その後は小説を読み始めた。

ラノベは大変面白らしく最後まで読み切りたくなるのはどうしてなんだろう 素晴らしいから。

8月7日 日曜日 部活有り

さて楽しい時間というものは早く過ぎて行くもので夏休みも折り返し地点に到達してしまった。

それなのに怠惰な生活の影響で午前中は睡眠。

11時半頃に昼食を摂り、部活へ行く準備を始める。

膝のサポーターが見つからず、少しの間探し、靴下コーナーにまぎれていることに気づいた。

その後自転車に跨り学校へと向かった。

8月8日 月曜日 部活有り

夏休みの宿題を半分以上、一気に終わらせた。

8月9日 火曜日 部活有り（今日の夕陽はきれいだった）

今日という1日は特に変わったことは無かった、

と一言で片付けてしまえば確かにそれはそれで良いと思う。

ただとあまりにも味気無いようにも感じられるので、まあとりあえず、

部活は午後で4時間。

休みの日はこれが普通で（今は夏休み中なのでこれに該当する）、実際のところ、体力があまりない僕にとっては凄くつらい。

まず、10分間走ることから始まり筋トレ、筋トレ、筋トレ。

体の内側から溢れ出すようにして流れ出る汗は、体育館の床を濡らした。

相当な量で、着ているTシャツが肌にべったりはりついて来た。

（男子がスケT着たつての誰も得しねえんだよ！）

かなり気持ち悪い。残念ながら、代えのシャツを持って来るのを忘れていたため、今日の部活は最悪な気分になりそうだ。

お茶、について。

部活の時は毎回マネさんがムギ茶をつくってくたさる。

そして多分僕は部内で一番多くそのお茶を飲んでいるはずだ。

汗をかくともの凄く喉が渴くのでまずは1杯、3秒もしないで飲み干す。

第1声は「あ」 ああああああああああ！！！！！！！！！！

!!!!

続いて2杯目も3秒もしない内に、飲み干す。

「ああ」

更に3杯も、飲む。ここからは声を出さずに、周りにいる人と話しながら飲む。

もう1度コップにお茶を注ぎ、口に含んでから飲んでいると、マネさんに声を掛けられた。

「ま、お茶飲み過ぎじゃない？」

……そうだろうか？あまり意識せずにただぼんやりとしながらお茶を注いでは飲み、注いでは飲んでいたから、実際わからない。確かに部員を見ると、みんなは1、2杯もしないで練習に戻っていった。

「そうかも……？」

あまり自信が無いので控え目に応える。

「そうだよ、気付いたらいつもままってお茶飲んでいる気がする！」

「いや、流石にそこまでじゃないしょ」

と軽く突っこんでおく。

「てか、ままはやめて。普通に名前で呼んでくれ、頼む」
なんてやりとりもあった。

8月10日 水曜日 部活有り（夜中に雨が降った）

Q・朝、学校に着いて1番始めにした行動はなんでしょう？

A・トイレに行ったよ!!!

『午前の部活』というものは僕にとってかなりの強敵である。
なんと言っても『朝』はつらい。

やる気が起きないし、頭がぼーっとするし、それに眠い。

こんな最悪の3コンボを喰らって平気なヤツはそうそういない筈だ。
…… 実際、朝に強い人がうらやましい限りだぜ。

今日のメニューはまず体育館の中を1分軽く走り、その後ペースを
上げて1分走る。

それを繰り返し、繰り返し…… 5回やったので計10分間走つてい
た。

1度、5分間の休憩をはさんでから次のメニューに移った。

まあステップだ。膝がかなり悲鳴を上げていた気もしたが、我慢だ
我慢。

マネさん先輩が心配してくださったが、ゲーム練習をしたい為『大
丈夫です!』と返答した。

…… 汗がひどい。衣服の重量を2倍より多くしたのではないかと思
えてしまえるほど汗を吸い込み、臭かった。

その後、基礎打ちを20分間。

再度、休憩をはさみノック。

コートのかごを設置して、そこ目がけて1分打ち続ける。

前後に動くのは大変だった。かごの位置を替えて同じことを4回。
疲れるな。次のノックはよく解らなかった。

8月11日 木曜日 練習試合(だけど墓参りのため欠席)

朝、6時半に起こされた僕は今日何時に寝たのかを思い出す。

「確か、2時だったかな……」睡眠時間4時間と30分。

夏休みだからといって墮落し過ぎているのではないだろうか。

一人、ベッドの中で疑問に思うが、応えてくれる人はだれもない
(いたら困るわ)。

どたどたと階段をどつかのお偉いさんみたいに闊歩すると、

「五月蠅い」と母からのモーニングコール。

一発で完全に目が覚めてしまったぜ。

家を出発する時間を確かめると、『9時』だそうだ。

9時には準備を完了させないと、と思いながらベッドに吸い込まれるように潜って行った。

……目を開けると8:55分。時計の針が狂ったかと思ったが、数量の変化を数字で段階的に示された時計、つまりデジタルな時計だったので、そもそも針なんてものは存在しなかった。まずい、急がないと！

身支度を5分もかけないように頑張っていたのが、みんなの準備が遅かったので、

結局家を出たのは9時20分。あんまり急がなくても良かったじゃん。

起伏やカーブの少ない高速道路を利用をしているため、程良い振動が睡魔を連れてくる。

移動の際の1時間を丸々全部寝て過ごした。

おばあちゃんの家に着いて、まず始めることは仏壇へのお祈り。それが終わると墓参りに出掛けることになり、早足で準備をした。ふと思い返すと、ここに訪れるのも10年目を迎えていた。

『10年』、0・1世紀、122ヶ月、3652日(多分)。

果してこの年月、月日、時間、が長かったのか短かったのかは分らないけれど、

僕は沢山のことを経験してきたつもりだ。

車の中から街全体を見回したところ、あまり大きな変化はない気がするが、自分の足で歩いてみると、商店街のお店が減っていた気がする。どちらも『気がする』だけであって、実際にはどうなのか知らないだけだ

静かになった、

確信を持ってそれだけは言える。

1度家へ戻り、再び今度はお昼ご飯を食べに出掛けた。
到着したところは五香^{ウーシャン}という中華料理店だ。

以前、といっても小6以下の記憶は曖昧で分らないので多分もつと幼い頃ここに訪れたことがあった。

昔のことなのに鮮明に思い出してくる。

ふり返ると、小さい自分が見えた気がした。

豚肉の唐揚げ、炒め飯、餃子ライス、豚肉の酢揚げ、味噌ラーメン、五目ヤキソバ。

4人で注文して色々な話をしながら食べた。

とてもおいしかった。帰りにBOOKOFFによってお気に入り歌手の弾き語り本を発見したので即購入、なんと2000円！もともと2000円だったのですごくお得な気分がした。

家に帰り『ジョジョの奇妙な冒険』の4部の終わりを読み、ギターに触っていると急に眠気に襲われそのまま寝てしまった。

気付くと2時間が経過していて、夕飯の準備が終わりみんなは食べ始めていた。

エビのフライと豚カツ。両方ともジューシーでさくさくで文句無しでおいしかった。

その後、帰宅。いつもなら車の中で寝ていたのだが、今日の昼寝はとても長かったので目がぱっちりと覚めていて退屈だった。

家に到着して携帯を確認すると友だちからメールが着ていて

『明日焼き肉するからうち来て！』

まじかよ……

8月12日 金曜日 部活無し（お盆休み？）

昨日のメールの件もあり、今日は焼き肉パーティをすることになった。

朝食を食べ終えた後、メールの返信を午前8：00ジャストにした。

『おK、何時開始だい？』

『1時から大丈夫？』

『問題無し！どこで待ち合わせする？』

『セブン、でもいい』

『おK、その後どこかに行くのかい？』

……………そんなやりとりを3時間程。

さて1時。待ち合わせより10分早くセブンに着いたので
適当にぶらぶらしていると、

向こうからよく知っている顔がこちらを見て大爆笑した。

「ぶはははは、お父さん久し振り」

誰がお父さんだよ。

「おいおい、誰がお父さんだよ……」

「だってその服装とかまじお父さんじゃん」そうなのか……

そんな会話をしながらビッグに向かった。

本屋さんでマンガを2冊購入して、メンバー達と合流した。
お肉を買って主催者の家に訪れることになった。

4時間くらいをだらだらと過ごしたのだが、不思議と退屈もしないし、

むしろ楽しかった。

その後メンバーが1人やってきて、全員集合！焼き肉パーティースタ
ート！！

約1名が僕の皿にナスビやピーマンを置いていくくせに、
逆に肉ばかりを持っていかれた。まあ別にいいんだけど。
その後花火をして家に帰った。

8月13日 土曜日 部活無し（ばあちゃんが遊びにきた）

墮落した生活再び。

8月14日 日曜日 部活有り

今日の部活は午前であつた。

だけど、それは別に大したことではなかった。

それが午前であろうとなかろうと、午後であろうとなかろうと、きつとなにも変化はなかったに違いない。だってお盆だもの。

他の部活動は1つも活動していないというのに、バド部だけはあった。

その所為で今日出席した人数は10人。あまりにも少ない。

マネさんもない。寂びしい。

1通り練習が終わるとゲーム練習へと移行し、ただただ試合を繰り返した。

ちよつと以上になりに疲れた。

部活が終了したので家へ帰り、ご飯を食べて、寝た。

8月15日 月曜日 部活有り

今日が蝉の一生に似た、散々待っていた挙げ句、すぐに終わってしまう夏休み最後の部活だというのに、参加した人は少なかった。

昨日と比べると若干増えたのかな？と思ったが、人が入れ変わっただけで結局同じ10人だった（マネさん+2だから増えてはいるけど……）。

練習では今までにない線オニ

（体育館にひかれているラインの上だけを歩いてよいというオニっこ）

をした後、ケイドロをやった。

なかなか疲れる内容であった。

オニになった人、負けた人は罰ゲームとして筋トレ、アルマジロ（四つん這いになって体育館）を1周をさせられていた。

その後基礎打ち、ノック、ゲーム練習と繋がった。

ゲーム練習では1年と2年生が組むという新しい試みだった。負けてかなり悔しかった。

家に帰りご飯を食べ、パソコンを起動。

8月16日 火曜日 部活無し 夏休み最後の日

高校生活初めての夏休みだというのに、

青春って感じがもうどうしようもないくらいに、

泣けてくるほどに皆無だった。

クソッ、一体どこの分岐点で間違っただんだ!?

あなたの考え自体がエンド・オブ・アース並みに終わっています。

宿題はなんだかんだ言って結局全部終わらせだし、まあ悪くはないかな？

8月（2学期）

8月17日 水曜日 2学期最初の日 もう普通に部活がある

朝の2度寝というのは大変気持ち良いものでありまして、あと5分……と思っていても気付くと30分が経過しているから凄く困る。

早く寝ろって？残念そんなこと僕には出来ない。

家を出発したのが8時10分、完全な遅刻確定コースまっしぐら。だからこそ僕は頑張る！ふだんなら最低15分くらいかかってしまっただが、

今日は10分で到着してしまった。

今は8時20分、あと5分遅かったら廊下に立たされていた。危ない危ない。

1時限目に4班の人が掃除を命ぜられ、ぶぶぶざまあとと思っていたのだけれど、僕は4班であった。

9時になり、7月に受検した模試が返却されて、あまりうれしくない結果だった。

その後は『実力確認テスト』という、

夏休み明けテストを午後にまでわたり繰りひろげられた。放課後は部活。

8月18日 木曜日

昨日行なわれた『実力確認テスト』が返却された。自信のあった数学がまるでダメで正直、へこんだ。

英語は長文読解『THE STAR』で大打撃を喰らった。

右フックからのストレートは正直かなり効いた。理科で挽回。

8月19日 金曜日

今日の部活は前後半に分れていて、男子は前半にランニングをすることになった。

今回はみんなのタイムを測ることになっていた。

だが、お茶を作りに行っている間に帰ってきてしまった部員がいた！申し訳ない気持ち溢れてくる。

放課後が終わり、生徒は下校の時間を告げられて各々の家に向かう。なのに僕は自転車の鍵を失くしていた……

…仕方なくバスで帰った。

8月20日 土曜日 部活有り

今日の部活は午前中。

眠い目をこすりながら学校へ向かっている。

当然、目をこすりながら自転車を運転している訳ではなく、

昨日自転車の鍵が行方不明になってので、親に送ってもらっている車に乗っていると小さなゆれがどうしようもなく

睡魔を活性化させる気がする。

練習中、ステップの最中マネさんに止められた。

『足が完治するまではムリしてはいけません！』みたいな？

みんなが走っていると床が揺れ、また眠気が……頑張って耐えた。

空は青空なのに突然、雷が鳴り出した。雨はまだ降っていない。

雲が少なく、悪い天気ではないのに何回も何回もごろごろと鳴っている。

と、いきなり、雨が落ちてきた。

『降ってきた』ではなく、『落ちてきた』。

それこそ、たらいをひっくり返したかのような感じで、

ざあざあと大粒の雨が落下し続けている。
だけど、僕は、それがきれいに見えた。

マネさん2人がドアのところから顔を出していて、
ピカッと光った瞬間ビクツとしながら体を体育館に引っ込めてまた
顔を出して、

ごろごろと音が鳴ると、また全身をビクツとさせて引っ込めていた。

8月21日 日曜日

それは突然だった。

一息つく暇もなく、終わりを告げていたのである。

「床屋に行きなさい」

絶対権力支配による弾圧だ。

それは僕に対して、死亡宣告と大差ないことを表している。

なぜならば、僕は

社会が苦手だ。

ともだち

交流が苦手だ。

しぶん

他人が苦手だ。

なによりも

とまあ、結局床屋行っただけど……やっぱりなんだ、絶対に慣れない。

知らない人と話したくない。だから嫌なんだよ。

帰りに図書館へ寄り折紙、ジャズの本を確認した。

その後家へ帰り、久方振りに勉強をした。

8月22日 月曜日

今朝、朝食を食べてからベッドに横になると、いつのまにか眠っていた。
色々な夢を見ていた気がする。
けれど、もう8時になろうとしていた。
特筆することなし。

8月23日 火曜日 体育大会

今日は体育大会。

午前中は特に仕事とか出場するのがなかったので、本を読んでいた。
午後にはリレー予選会が開始された。

緊張が身体の調子を狂わしてしまう程にまで増大していた。

リレー予選は全部で5ブロックに分れていて、僕の所属する1年3組はくじの結果、4ブロックの4レーンだった。

4ブロックの他のクラスは全部上級生だったので、より緊張した。

1つまた1つとどんどん消化されていき、いよいよ次は僕達の出番だ。

はちまきを巻き、軽くストレッチを済ませていると、3組の女子の視線に気付いてしまった。

頬が勝手に緩んでしまったので、恥ずかしくなり顔をそらした。

「位置について」

僕は自分を静める。

「
よーい
」

僕は自分を鎮める。

「
パンっ！
」 スタートの合図、火薬のにおいが鼻をつく前、

僕は自分を沈める。

ただ走ることだけに集中する。
他のことなんて関係ない。

今は、ただ、走る。

1人、スタート開始直後に転倒した。

今はそんなもん関係ない！！

1、3レーンの人が走りだす。

僕も全力で後を追いかける。

コーナーの曲がり角、折返し地点、

2人を追い抜かそうとすると、

2位の人がひじうちをしかけてきた！

バランスを崩されてしまった。

それでも頑張って走り、

次の人にバトンを渡した。

スターターの人の段階では3つのクラスが同列1位だった。

.....

まあなんというか結局、結果は3位になってしまった。

痛いくらい悔やしくて悔やしくて、自分のふとももを思いっきりぶ
んなぐった。

痛みがじわーっと広がり、本当に負けてしまったことを認識させら
れる。

悔やしかった。

クラスみんなは

「上級生相手に凄かったよ！」

って言ってくれて、恥ずかしくなった。

8月24日 水曜日

体育大会2日目。特になし。

部活、ロード、大変。

8月25日 木曜日

昨日、一昨日の体育大会が嘘のように消え去り、なんのへんてつもない、なんの代わり映えのない学校生活に戻ってしまった。

部活では、両足を同時に つる という、全く大変あほな行為をしてしまった。

8月26日 金曜日

体育大会の疲れがあり、授業をほとんど寝てしまった。

8月27日 土曜日

部活終了後、初めてのカラオケ！音が大きい、画面が大きい、コップが大きい！

なにもかもが新しい空間に僕は正直驚いた。

3時間くらいぶっ続けで歌いまくったというのに、まだテンションは上げ上げのままだった。

男3人で入ったが、楽しい一時は本当に一瞬で終わった。

8月28日 日曜日

午前の部活終了後、友だち2人を家に誘って遊ぶことにした。
一緒にゲームをやったり、将棋をやったり、テトリスをしたり、ギターを弾いて楽しんだ。

8月29曜日 月曜日

そしてまた平日は始まる。
ただの繰り返し日々の始まり。
いつもいつも非日常に憧れて、非現実には憧れている。

今日の体育の時間は陸上で、100M走だった。

前回の記録は『13秒1』

今回の記録は『12秒6』!!

念願(?)の12秒代へと突入した!

部活の時間、マネさんに自慢したところ話し方が面白かったらしく笑われた。

別にいやな気持ちになったりはしない。

久し振りに部活が早く終わったので、ゲオに寄ることにした。

8月30日

テスト1週間を切ったので、部活動は停止。今日は教室で勉強をすることにしたのだが、眠まってしまった。

8月31日 水曜日

朝一番、怒声から始まった。

「いつまでだらだらくつちゃべってるんだ!」

担任の先生は音楽の先生であり大きな声を出さない。

だけど規律が緩んでいたり、だらしないことをしてしまうと注意はする。

だけど怒鳴ったりはしなかった。

それなのに、今日は朝一番は怒りの込められた声だった。

今日、友だちから

「9月11日にカラオケに行くノ女子もくるよ!」

という文面のメールが届いていた。

9月（上旬）

9月1日 木曜日

今日も放課後に学校で居残り勉強をすることにした。

勉強といっても大半はおしゃべりでつぶれてしまっただけれど・・・

友だちと他愛もない話をする事、

それは僕にとっては生活する上で一番重要なことだ。

別に放課後が良いって訳ではなく、

友だちと一緒にいられること自体が凄く嬉しいのだ。

だけど嬉しい反面、とてもこわい。

本当の自分を見せたら、みんなは僕のことをどう思うのか・・・

9月2日 金曜日

体育の時間は自習となりバレー、バスケ、バミントンのいずれか
をすることになった。

僕は最初、バスケをしたかったのだが人数が多く諦めることにし、
バミントンをすることにした。

学校のラケットはとても重く、グリップも べたべたしていてかな
り気持ち悪かった。

羽根を適当に打ち合っていると授業はすぐにつぶれた。

今日は金曜日。夜更しをしてゲームをやった。

9月3日 土曜日

部活のない休日は本当に久し振りの気がする。

パソコンをやって、ゲームをして、ギターをかきならし、ゲームを
した。

墮落している生活だな。

9月4日 日曜日

朝早く目覚めた僕のとった行動は、いたって単純極まりなく、テスト前の一高校生のすべきものではなかった、ところでは言っておこう。

いや、別に大したことなく、休日だからという理由でゲームをやっていたのだ、12時間。

なんか始めたらやめるのが煩わしくなってしまうて、ベッドの上から動けなくなり、気付いたら外は真っ暗になっていた。
勉強しろよな。

9月5日 月曜日

テスト前日。なのにまだ勉強をせず。
いいんだよ。別に……………

9月6日 火曜日 テストの始まり……………

テスト初日、科目は社会、理科、保健。
なかなかの出来ばえだったと思う。

9月7日 水曜日

テスト2日目、科目は英語A、現国。最悪の出来ばえだった。
もう、なにがなんだかわからなかった。

現国にいたっては問題数が多く、全部を解くことが出来なかった。

9月8日 木曜日

テスト3日目、科目は数学A & a m p ; I、情報。まあまあの出来だったと思う。

家に着くと、父さんが昼食をつくってくれていて、メニューはハムとイモとチーズの炒めもの。

塩・胡椒がもう少し効いていれば、更においしかったと思う。その後寝た。3時間くらい。（勉強しろよな・・・）

9月9日 金曜日 テスト終了！

4日間に渡る定期考査がようやく終わりを告げた。

今日の科目は英語B、古典、家庭科だった。

英語、古典の自信は若干ないが、5割を下回ることはない気がする。

テスト終了後、大麻体育館でバドをやる予定だったが、1人がドタキャンをすると、みんなまで行かないと言ってしまった。

「どうして？」と尋ねると、

「祭」・・・そうですか。

その後、バスにゆられて家への道をたどった。出来る限り他人とは目を合わせないように気を張りながら。

家に着くと母がキムタクチャーハン（キムチ タクアンチャーハン）を仕上げているところだった。

「今日、会議あったから夜遅くなるね」と言っで、また仕事へと出掛けた。

お昼用につくってもらっていたおにぎりを2つ食べ、パソコンを起動し、4時間くらいぶっ続けでいつもの墮落モードへと突入した。

9月10日 土曜日 部活有り

テスト前週間+テスト週間=2週間の部活動停止の影響で、僕の

所属している男子バドミントン部も当然、「勉強頑張れよ」ってことでなかった。それが今日解禁されたのである。久し振りの部活、それはただたんに僕の息を上げるだけでしかなかった。

家に帰ると、親が「外食にするぞ」と言い「どこに行きたい？」と聞かれ、僕は悩んだ末に「スシ」と応えた。

回転ズシは今日が土曜日であることちょうど昼時だったということが重なっていたためか、混んでいた。

父さんと食べた合計は20皿だったが半分以上は僕が食べたはずだ。そのあと札幌の楽器屋さんへ寄り、帰路に着いた。

9月（中旬）

9月11日 日曜日 部活有り

今日の部活は、午前中。そして午後からは友だちとカラオケに行く予定だ！

だけど部活は部活、まじめに練習をした。

最初に3分間を速めに走り、その後は1分ごとに軽くランニング、速めに走る・・・を繰り返し5回、計13分も走らされた。

次に25分間の基礎打ち、休憩をはさんだ後ノック、最後にゲーム練習をした。

ゲーム練習では僕はダブルスなので1年（僕も1年）の相方と組んで、何回か試合をした。

2年生の先輩に申し込んで試合の相手をしてもらった。

結果は負けだったけれど、色々なことを発見出来るようになるゲームだった。

部活が終了し、待ちに待ったカラオケ〜〜！！

実は今回で2回目だったりする。

最初の2時間はずっと歌っていたのだが、その後はじゃれあいながら歌うのを楽しんでいた。

楽しい時間はあっという間に過ぎさり、気がつけば時計の針は午後の5時をさしていた。

「またこよ〜ね〜」

とみんなで言って解散した。

9月12日 月曜日

今日はテストが返却された。

もう書きたくない。

9月13日 火曜日

今日もテストが返却された。

もう書きたくないのだが1つ、

帰るときに雨が降り始めた。

くんっ、と鼻から息をすいこむと、

アスファルトと雨とがまじるにおいを感じた。

何度体験しても不思議に感じるこのにおい。

僕は胸一杯に空気を取りいれながら、自転車をこいだ。

9月14日 水曜日

のどが痛い。

朝一番に感じたことだった。

朝食を食べている時も、つばを飲み込む時も、話す時でさえわずらわしく思う。

いっそのこと、のどを切断して洗浄液にじゃぶじゃぶとつけこみ、ブラシで表面を軽く削りとってから、

度数がかなり高めのアルコールにひたして消毒し、

直射日光を十分に浴びせてからまた戻したくなっただけど、

そんなまねは僕には絶対に出来ない。当然だ。

とまあ1日中気持ち悪さと頭痛、のどの痛みを感じとりつつ授業を授けた。

家に着くとまずご飯を食べ、次にアツメの風呂に入り、そして寝た。まっさかさまに落ちるような浮遊感を全身にいだきながら。

9月15日 木曜日

のどが痛い。

昨日よりも一段とひどく。

ああ、これはまさに熱があるな、と思いつつ体温計を探すと、すぐに見つかった。早速わきにはさめて、しばし待つ。

ピピッ、ピピッ、ピピッ、と電子音が生クリームに間違えて醤油を入れてしまったようなくすんだ体温計からなった。

35.5

いやいやいや、いくらなんでも低すぎるだろうこれ？

残念ながら成長期の高校生男児の平均体温なんてものは知らない。学校を休れるか微妙なところだったので、親に尋ねてみると、

朝だもの。

だそうだった・・・

学校では朝に飲んだ薬の所為か眠くなかったのに、気付いたら授業が終わっていた。

9月16日 金曜日

寝ている最中に鼻がつまり、何度も起こされた。ひどく眠い。

風邪が完治しないまま部活に参加し、家に帰ると立っているのさえつらくなった。

でも、体温は35.9

ん、朝と比べて夜の体温は0.1くらい上がるっていう話をきいたことがあるのだけれど、該当しないなあ・・・

9月 17日 土曜日

今日、高校説明会があり中学3年生の生徒たちが見学していた。どことなく幼さの残る顔を見ると、僕も1年前はこんな顔だったのかなと思う。

9月18日 日曜日 今日バドの大会！

今日はバドミントンの大会！
だけでも万全でも十全でも完全でもない、最悪のコンディション。
なぜならば風邪がいまだに続いているからだ。
なんかとても嫌な予感がした。

それで大会が延期になるなんて都合良く、勝手に変更することは出来ず、

今はダブルスの2回戦目。

1セット目は奪いとることは出来た。

しかし2セット目から息が上がり、動く度に頭が痛みだし状況は最悪。

嫌な予感は見事に的中した。2セット目をとられてしまった。

いや、全然うれしくないよ？

3セット目に入り、僕がサーブで5点を先取することが出来た。

この貯金を有効利用しなければ！そう思った。

点を取ったら取り返す。やられたらやり返す。そんな感じの試合だ

った。

競って競って競って競って、最後の最後まで競って、更に競って、負けてしまった。悔しかった。やめたくなった。もうどうでもよくなった。

もし貯金をもっと多くしていたなら、

もしもつと僕が速く動けたなら、

もし僕の体調が万全だったら、

後悔の念が、なにもかも飲み込む混沌が押し寄せてくる。

そして僕は深い眠りについた。

9月19日 月曜日

今日は敬老の日。だけでも練習試合が午後からある。

僕は起きようとして手を着いた、はずだ。

頭が上がらなかった。

どうやら風邪が悪化したようだ。

ずきずきと痛む頭をゆっくりと持ち上げて階段を降りていると、

一段また一段と体が下へ動く度にずきっ！と来た。

家族みんなで朝食を食べた後、薬を飲んでベッドへ潜った。

携帯を開きマネさんに

「今日は無理そうです」と送信。

「了解しました。お大事にね」と返信。

僕は安心して眠ることが出来た。

9月20日 火曜日

今日は土曜日に学校があつたため、振替休日だ。

午前中は『オレタチのフィールド』をずっと読んでいた。

午後は『メモリーズオブ〜ゆびきりの記憶〜』をプレイしていた。

9月（下旬）

9月 21日 水曜日

鼻づまりがかなり治ってくれたおかげで、だいぶ味を感じることが出来るようになってきた。ここ最近、ただ食欲を満たすためだけに食事を行っていたので、楽しみがまた1つ増えたような嬉しい気分だ。

テストの結果が返ってきた。学年順位は最悪だ。

9月22日 木曜日

今週は祝日と振りかえ休日のおかげで登校日はたったの2日間だけであつた。

さらに、バレー部が明日大会なので今日の部活はなし！
やった〜と思い家に帰って寝た。

9月23日 金曜日

今週の火曜日から来週の月曜日までお彼岸だ。
僕の家もお参りに行った。

父の実家は小樽にあるので、僕の住むところからだいたい1時間くらいあれば着く。

車に乗ってしばらくすると寝た。

目的地に到着すると他の参拝客（でいいのかな？）が多く、なかなか駐車出来なかった。

拝んだ後父の実家でそうめんを食べた。

9月24日 土曜日

風邪をひいてからというもの、1日20時間以上も眠ると言われる（確か……）ナマケモノの如くベッドから動いていなかった。起きたら生理食塩水のようなポカリスエットをちまちまと飲み、ご飯を少し食べてから薬を服用して、またベッドへ戻っていた。まるつきり病人のようだ。

9月25日 日曜日

わたあめのように触れたら沈みこんでしまいそうなやらかい雲が、遙か上空で激しい風にあおられて、僕のことを解かしてしまいそうな強い日差しを時々隠してくれる。

天気は晴。絶好のサイクリング日和。こんな日には外出しないとモッたいないような、そんな感じの昼下がりに。友達からメールが届いた。

「PSPが飛んだ（T|T）
なにをしたらいいのかわからん」

僕は修理屋さんじゃないんだぞ？

とりあえず会うことにして、久し振りに顔を見た。

高校に入学してからというもの、同じ中学校の人達とは全くと言っても過言ではないほど会わなくなった。

自分の住んでいる江別市はせまいせまいと思っていたけど、同じ市内に住む人と会う機会が減った。というよりなくなった。

大人に近づいているのかな……？と少し嬉しく思う反面、寂びしくなった。

.....

うちの学校はこうだ、担任の先生は優しいだとか、そんな話をして彼のお目当てであるPSPを修理してもらおうべく僕に渡した。

「あー、ブリックしてるね（笑

うんうん、OK OK、了解了解、しましたしました！」

「どれくらいかかる……？」

不安そうに窺う彼に対し

「うーん原因分んないし、

とりあえず15分〜1週間つてとこだな」

こういう時、僕は決まってオーバーに言う。

最初に大げさに言うておいていざやってきみたら

「そんなに速いの！？」って驚いてもらえるからだ。

つくづくいやらしい人間だと思う。

「例のブツだ」 低音

「ひひっ、助かりますぜ」 僕

僕は袋に包まれている本をいただいた。

と下らない、本当に下らないやりとりをしてから別れた。

家に到着してすぐにパソコンを起動して、必要な作業を済ませた。

「後はー、後はー、すぐ終わるー！」

なんて歌っていたら、問題発生。

電池残量 39%

「……………」

彼のPSPを充電機にぶっさしてから寝た。

9月26日 月曜日

きつと、全国の生徒及び学生達は、初めてバンジージャンプやスカイダイビングをする直前の人と同じくらいテンションが低いであろう。

幸せの3連休はあつという間に終わり、『学校』という現実を無理矢理、眼前にたたきつけられる。

眠い目をこすりながら登校し、意識がモウロウとしながら授業を授け、昼食を食べて満腹になったお腹をさすりながら、閉じ行くまぶたと格闘しながら、1日は終わりにへと近づいて行く。

9月27日 火曜日

火曜日、いつもなら部活は休みなのだけけど、先週どこかの部活と交換していたため今日はあつた。家に帰ったらなにしようかと色々と考えていたのだが、そんなのはおかまいなしにトレーニングは始まった。

部活は女バドと前後半で入れかえで今回は男子が先に筋トレ。そこで問題は発生した。1年が筋トレ2年はランニングをし終え、練習項目を交代し1年のランニングが始まってからのこと。

1年の数人がふざけながらランニングをしたことに対して先輩方は怒っていた……………

部活の時間はランニングだけで終わったのである。

9月28日 水曜日

今日もまたランニングから始まった。きっと昨日の件を汚名挽回（

間違い）の機会を与えてくださったのか・・・？

だけど、今日は僕の足がつってしまった。しかも両足。ジャンプして着地をした刹那、あぐわ、ってな感じで。痛みでまっすぐに歩くことさえ出来なかった。

9月29日 木曜日

今日は防災訓練があった。

9月30日 金曜日

今日は1学期最後の登校日。僕の通う高校は2学期制なので、小、中学校の時とは違い、『秋休み』というものが存在する。だが、それと同時に『講習』も存在する。

5日間のうち、3日間を朝8時30分、学校にて先生からありがたい言葉を頂き勉強に励むという、休みじゃないやん・・・

そんなことを思いながら明日から始まる講習を腹立たしく感じた。

10月（上旬）

10月1日 土曜日（秋休み）

『秋休み』と言っても、朝6：00に起床し朝食を食べ学校へ行く準備をして身支度を整え自転車にまたがるのは、いつもと変わり映えがない日常の風景であり、『休み』なんて毛ほども感じさせてはくれなかった。

2回の休憩をはさんだ後、12：30をもって1日の講習が終了する。チャイムは結婚式の美しい鐘のような音色で、至福の自由時間への突入を教えてくれる。僕は一応、男バドに所属しているので昼食を食べた後に部活動が始まる。

2：30からトレーニングが始まるので、部員と一緒にすぐ目の前にあるスーパーで昼食を摂ることになった。

.....

食事にかかる時間なんてものはパーティでもなければ30分もしない内に終わるもので、ましてやたったの数人（しかも全員男）で1時間もつぶすことは不可能だった。手持ち無沙汰になった僕は学校へ戻ることにした。1年生の教室は4階にあるので、めんどろだなあと思いながら1段飛ばしで上がって行く。教室には先に戻っていた人達が勉強をしていたが、「ああ、もういい！」と僕の顔を見たり言った。一瞬、イラッ！ときたが、別に悪意や敵意がある訳ではなさそうだったので、自然と今の感情は風船ガムのようにふくらんで、ぱちんと消え失せた。

となりのクラスをのぞくとマネさんがお昼後のガールズトーク（？）を繰り広げていたので、僕も一緒にさせてもらうべく教室へと足をふみ入れた。

僕には好きな人がいる。いつも可愛いなあ〜可愛いなあ〜と思っていたが、その気持ちが『好き』となったのは学祭の時だと思う。

学祭、2日目のこと・・・

ちよつと長くなりそうなので、また明日（。v。）ノシ

10月2日 日曜日〜昨日の続き〜

で、今は7月8日の学校祭。基本的に僕は人が大勢いるところが苦手なのでこういった行事は少し嫌いだ。ほとんど寝て過ごした。非リア充にとってこういう行事は苦行でしかない。ただ、僕は、ときどきしていた。

なぜなら、キナルアノコがノド自慢に参加するみたいだから。全身が心臓になってしまったかのように、ばくばくと脈を打ちちはち切れそうだった。……。来た！他のやつらのはどうでもいいけど、この歌声だけは聴き逃しては絶対にいけない。立ち上がり一生懸命に背伸びをしたが、残念なことに最後尾である僕にはステージ上で起こっていることを視認できないでいた。

曲が流れ始めたので立つことを諦めた（人の熱気ですぐにでも吐きそう・・・）。マイクによって彼女の歌声が拾われて、スピーカーからまあそれなりの音質で、流れる（出来るのであれば、最高の音質で聴きたかったな・・・）。

）

いつもの話す時の声とは違い、『歌っている人』の声だった。いつもより澄んでいて体育館に響き渡っていたのは、気のせいではない。僕は懸命に彼女の声を出来る限り最高の状態で心に焼きつけようと必死だった。鮮明に今のこの一時を胸に刻もうと耳をすましていた。

そして歌は終了し、後は生徒会の催し物、ビンゴ大会やらなんやら・

学校祭2日目は後は花火だけとなった。

10月3日 月曜日〱昨日の続き、そして終わり〱

花火大会はもちろんのこと体育館の中でやることなんて出来るわけもなく、グラウンドへ移動。先生方からの指示で「親御さんに連絡してください」と言われたその瞬間、チャンス!と思った。速攻で親にメールを送り、Aさん(キナルアノコは仮にAさんということにしよう)にも次の文を送った。

「歌 すつごく良かったね!」 するとすぐに返信は来た。

・
・
・
・
・
・
・

3年 2年 1年の順に外靴にはき代えてグラウンドへ向う中、一緒に花火を見られるかもしれないと思った。もしかしたら、もしかしたらと期待が熱気球のようにむくむくとふくらんだ。・・・外は雲がかかっているおかげで時間の割には少し暗い。絶好の花火日和(?)だ。

視線を地上へと戻すとAさんは一人で携帯を確認していた。周りに女子の友達はいないようだったので、僕はそーと後ろに近づき「わっ!」と驚かした。一歩間違えるとただのヘンタイさんになりかねないのだが、多分大丈夫であろう・・・? Aさんは一瞬、肩をちぢこまらせてから僕の方へ振り向いた。

その後、歌の事を話していると花火が打ち揚げられた。最初の一発目は突然のことだったので、会場にいるほとんどの生徒は驚いていたと思う。そして勢いよく顔を上げると、

「きれい」

Aさんの小さな声が僕の耳へ届いた。

10月4日 火曜日

なんでいきなり7月の学校祭の話をしたのかというと、まあ書かれている通り、僕には好きな人がいる。ノド自慢大会（カラオケ大会？）に出場するほど歌唱力の持ち主でありまして、今日その人（達）と近場のカラオケボックスに行くための前座（？）、前置き（？）といったものはつきりと示しておきたかったからです。

AM6:00 携帯でセットしたアラームがやかましく音を上げ、
バイブレーション
微振動を始めたので覚ました。午前中は部活、その後に最大の楽しみであるカラオケだ。高なる鼓動に気付きながら朝食を食べ、いつもより早めに家を出発した。

カラオケボックスに早足でかけていくと、女子2人はすでに到着していた。待たせたのかな・・・？と思ったが気にしている様子はなく、友達が受付で少し話した後、店員さんに部屋へと案内された。コの字形の部屋に入った僕達の座った配置は

Aさん、

—もう1人の女子・男子、

僕

と、残念ながらAさんとの距離は離れていたが、歌っている時の横顔を盗み見ることは出来た。Aさんは生まれつき視力がよくなく、画面を食い入るようにしていたので、多分、僕が見ていたことには気付かれていないと思う。その真剣な表情にもドキドキと胸が速まった。

~~~~やっぱり、Aさんの歌声はいつもの話声とは違い、芯が通っているような力強さでどこまでも響き渡っていきそうで、いつま

でも僕の胸の中で留まっていってくれそうな気がした。

途中でスパイシーポトを頼みみんなで食べているとAさんは「辛い」と言った。僕は辛くないと思った。そこから『辛い食べ物』の話をしたりと楽しい時間は過ぎていった。

・・・・・・たっぷり歌いに歌って5時間が経過したところ、女子が疲労の色を見せ始めたので、その日は解散することになった。

10月5日 水曜日

ふと、なにを思ったのかカレンダーなんかを見つめていると、今月はもう10月になっていることに気がついた。10月、それは4月から半年が経過したことを示している。「半、年、か・・・」口に出してみてもあまり実感はない。なにか変わったのだろうか。なにか変わったのだろうか。自分に問うてみても分らなかったし解らなかった。

10月6日 木曜日（二学期始業式）

秋休みはほんの1週間もなく、生徒達にまた学校へと登校させるようになった。今日もいつもと同じように自転車に跨り、勢いよく飛びだすと朝の空気が冷たくなっていることに無理矢理気付かされた。もうすぐ冬がやってくることを告げているようで、嬉しいような哀しいような、そんな気持ちになった。

10月7日 金曜日

二学期が始まってからたったの1日しかたっていないというのに、僕の身体も心も疲労していた。どちらかというと疲弊しきっていたかもしれない。

『秋休み』だったので感覚的には夏休みと一緒にゃなね？という、

単純かつ安直で愚鈍な思考の持ち主である僕は夜更しをして小説を読むことに明け暮れていた。しかも、ラノベ。軽小説と書けば幾分見映えは良くなるが、結局のところはライトノベルである。

僕の通っている学校は比較的『そちら』の趣味を理解している、いや『大好き』な人が多いので、あまりびくびくと怯えながら肩身を狭くしながら本を読むことはないため、学校で楽しい会話を繰り広げるべくある程度の情報収集が必要不可欠なのだ。

だけど、睡眠不足という避けられない厳然たる事実(?)の所為で休み時間に寝てしまつては意味がないであろうに・・・と一人、自分につっこみを入れたくなる今日この頃。

10月8日 土曜日 部活午前

昨日書いた通り、僕は大変大変大疲れていたので、部活が終わった午後家に辿り着くと即座にベッドの中へと潜り込んだ。

10月9日 日曜日 部活午後

昨日の睡眠時間合計18時間+今日の睡眠時間合計6時間=計24時間。

これには正直驚いてしまふ以外なにもなかった。

今日の部活では1年の女子と交流試合があつた。一応勝利を収めたが、試合の流れは最悪なほどにぐだぐだで、もあやんなっちゃうわあ。

10月10日 部活午前



今日はつづまき なるとの誕生日！

10月（中旬）（前書き）

後半　ヘビーです

## 10月（中旬）

10月11日 火曜日

今日は部活の定休日なので、友達と市民体育館によることになった。

……9月18日、僕はこの体育館のこの場所でこのコートで負けた。約1ヶ月が流れ、一体どれだけ変わっただろう。どれだけ強くなっただろう。どれだけ弱くなっただろう。それは、分らない。だけれど、今月末にある1年生大会で否が応でも無理矢理、強引に『結果』が見せつけられる。強くなったのならよし、弱くなっていたら……

そんなことを少し思ったけれど、一緒に羽根を打ち合っている間に忘れた。

10月12日 水曜日

最近、身体が疲れている。いくら寝ても眠っても『水泳選手』というものが襲ってきて、僕のまぶなに重みを乗せてくる。（スイマー  
睡眠）

原因の一つは多分、この頃部活を全力で取り組んでいるからだと思う。先月の悔やしさ（昨日参照）が日に日に強くなって行く一方で、羽根を上手く打てないという矛盾にも似た、残念極まりない現実が僕を駆り立てる。その分、疲労もたまり……

もう一つは、夜中突然足がつり、痛みで目が覚め熟睡出来ないからだと思う。結局はどちらの理由とも部活が原因である、だけれども勝利を掴みとるまでは頑張っ行ってきたい。

10月13日 木曜日

今日、文芸部を見学した。

ことの発端は隣りの席の人が……とありきたりな展開である。  
かすかに『ただの人間には興味ありません。……』なことを期待  
していたが、年々生徒数が減少し続けている某マンモス校でそんな  
妄想してみたことはなかった。

部員全員が超個性的で、絶対に退屈なんて単語はこの部屋には存在  
しないと確信した。超ハイテンションで乙女ゲーの話を大声で共感  
し合っていたり、自己紹介をもらった時に『趣味は人間観察（  
監察……？）です』と不敵な笑みを浮かべている人や、『趣味は  
部長（仮）をいじめることです』……文芸部だよな？

つい最近、高文連があつたらしくその反省会もしていた。  
けど、ぐだぐだであつた。

「他の学校はもっとまじめにやっているんだよ！」

「私達には無理ゲー的展開です。3日で終わった（笑）」

会話中に（笑 って……

でも、きつと……きつと！文章力が鍛えられる場所であると願  
いつつ文芸部をあとにした。

10月14日 金曜日

誕生日について。

この厨二病全開にして全壊であるこの小説小説を読んで下さっている、  
あなたの誕生日はいつですか？

僕の生まれた日は十数年前の10月14日（土）です。

誕生パーティーなんてものは、リア充のリア充によるリア充のため

の行事でしかないため、僕にとって大富豪がコンビニでアルバイトするくらい有りえない無関係なことではない。いや、別に憧れているとかそんなんじゃないんだからな。

友達が多ければ多いほど、誕生パーティーの回数が増えるわけでありまして、より楽しい生活を大量にねこじやしを与えられた猫さんみたいに満喫しているだろうと思うと、自然と胸の奥がチクリとするような錯覚を覚えてしまう。別にパーティーとかの主催者になりたいわけではない。

でも。そんな僕にも『誕生日、おめでとう！』と言ってくれる人がいて、そういう温かい光景に自分が溶け込んでいるんだ、という実感が身体の奥底からごぼごぼと湧き上がり、顔をあつくほてらせる。やっぱり、誕生日っていいな。

10月15日 土曜日

また、風邪をひいた。感染源は兄である（確定）。

一昨日、朝食を食べるために食卓を囲んだ時のことだ、兄が不機嫌そうだけどつらそうな顔をしていた。溜め息なんかをついているハシに手を伸ばすわけでもお茶を飲むわけでもなく、ただぼーっとしていた。

すると、兄のわきから10年以上変化がない電子音がピピッピピッピピッ、と鳴った。

『39.2』

……おいおい。

まあ、そんな訳で（どんな？）風邪が伝染<sup>うつ</sup>ってしまったようだ。

10月16日 日曜日

朝目が覚めるとそこには花畑が広がっていた!!!.....な  
んてことはなく、デジタル時計が12:10を示していた。12時  
間も寝ていた。ブランチにキムタク(ブタ)チャーハンを食べてか  
らまた寝た。

気付くと汗をびっしょりかいていた。水を飲みに行くために立ち上  
がると、立ち眩み。頭を下げると部屋に置いてある譜面台にすり、  
顔を切ってしまった。どうしようもない怒りがこみあげてきたが、  
我慢してのみこんだ。その後、また寝た。

夕飯になべを食べると全身から汗がふきだし、着ているパジャマが  
大変気持ち悪くなった。その後また寝た。

友達からメールが来たので目が覚めた。2・3回やりとりをした後  
風呂に入り、寝た。

10月17日 月曜日

今日、嫌なことがあった。自分のことだ。

部活中、上手く打てないからといって、ラケットにあたったり奇声  
をあげたり床をけつたりと、最悪最低最下の行動だったと思う。そ  
れを見て疑問を抱いたマネさんは(僕は基本的には普通である、は  
ず)、注意をしてくれたのにも関わらずそのような愚行を止めなか  
った自分をぶんなぐってやりたい。なにを言ったところで、その時  
やってしまったことはとりもどせない。周りの人を不愉快にさせて  
いたかもしれない。後から悔やむと書いて後悔。僕はそれを十二分  
に感じていた。

10月18日 火曜日

今日は部活の定休日なので、学校が終わり放課後になるともちぶ

さたになっちゃった。そんな時偶然、部員にばったり会ったので色々な本当にどうでもいいような話をしながら家へと向かった。明日は、数学が査閲テスト。ワークのテスト範囲にあたる部分を赤ペンで丸つけてから提出をしなければならない。なのに、それなのにワークはまだ全て終わっておらず夜更しをするはめになった。計画をしっかりと立てて取り組むのは重要なことであるが、なかなか出来ないものだ。

10月19日 水曜日

今日、またもやらかしてしまった。部活でのことだ。

自分勝手な言動や行動で他の部員に不愉快な思いをさせてしまった。なんて好き勝手なヤツなんだろう。

なんて我田引水なヤツなんだろう。

なんて厚顔無恥なヤツなんだろう。

なんて、思っていたりして。

10月20日 木曜日

昼休み、昨日の話を他の部員から聞いた。もう僕の居場所はない。

部活に顔を出すことさえ億劫だ。

一体、僕はなにがしたかったんだろう。修復のしようもなく完全に亀裂が入ってしまった。

部活の時間になり、顔を会わせるとやはり昨日件について言われた全くそのとおりだ。すべて僕が間違っている。なにも言い返すことが出来なかった。

死んでしまいたい・・・とは思わないし、口にしない。だけど、消えて無くなりたかった。

## 10月（下旬）

10月21日 金曜日

僕は今日早退した。はやびきと言うやつだ。サボタージュと言うやつだ。僕は部員から逃げるようにして、家へと向かった。

10月22日 土曜日

・・・・・・・・・・・・・・・・

10月23日 日曜日

・・・・・・・・・・・・・・・・

10月24日 月曜日

今日、部活に参加した。一人で悶々としていたのはただの杞憂にすぎなかったのだろうか？いつもの光景が広がっていて、いつもの部活がそこにあり、いつものみんながいてくれた。  
僕は。

僕はどうすればよいのだろうか？

一体、どんな顔していればよいのだろうか？

複雑なこの気持ちはどうすればよいのだろうか？

10月25日 火曜日 部活定休日

今週末の土・日にバドの1年生大会がある。そのため、また市民体育館にやってきた。



僕は友達と過ごすこの一時がとても大切なものに感じられた。  
だって、僕は・・・最低なのだから。

10月26日 水曜日

今日の部活では先輩と試合をした。勝ったり、負けたり、負けたり・

・  
ある試合終了後、僕の相方がかなり怒っていた。

試合で手を抜かれていた、本気で戦われなかった、そのことは僕も  
許せなかった。腹が立った。ぶん殴ってやりたくなった。  
でも、やらなかった。それでいいんだと思う。

10月27日 木曜日

また風邪をひいた。バドの大会2日前だというのにも関わらず・・・  
授業は全然集中出来ずばーっとしていて、全く身についていない。  
身体を強くしたいと思うのだが、なかなか上手いかわらないようだ。

10月28日 金曜日

明日はバドの1年生大会だ。

ただ、僕は今とても疲れていて万全の調子とはいえないから、良い  
成績を残せるかどうか不安である。

でも、自分のベストを出し切りたいと思っている。

『DO MY BEST!!』・・・最善を尽くす

英語の授業で習った表現の一つで、かなり気に入っているものだ。  
この言葉を噛みしめ悔いのない最高の試合をしたいと自分自身に強  
く強く胸に刻んだ。

10月29日 土曜日

今日はバドミントン1年生大会！

高校生になってから半年が過ぎた今、自分の実力が試される場である。先月の大会からだいたい1ヶ月が経過した。僕はどこか変わったのだろうか、今日、その答えが見付かる。

ダブルス1試合目はがちがちに緊張してしまい僕のミスが目立った。けどなんとか相手よりも多く点を奪いとることが出来たので勝利を収めた。

2試合目でも僕の失点が相次いで起こり、危うく負けそうになったがなんとか盛り返したことによって点差が開き、そのまま勝った。

3試合目、今まで順調に積み上げてきたトランプタワーが見知らぬ人の鼻息によってくずれ落ちるように、僕の中で描かれていた理想像が一瞬にしてはかなく霧散した。負けた。敗けた。決して勝てない試合ではなかったはずだ。

だけど。

敗けた。

ここでだらだとどれだけ僕の気持ちちが日本海溝のように沈み込んでいるのかを表記したいところだが、あいにく負け犬の遠吠えにしかないので割愛（でいいのかな？）します。

10月30日 日曜日 引き続き大会

シングルス。

僕は絶対にシングルス向きではない。バドミントンとではコートの中を縦横無尽に駆け巡<sup>そこまでするではないけど</sup>ったりするので、体力が幼い頃から貧困な僕にとっては、それが長引けば長引くほど限界が刻一刻と死亡宣告す

る死神のごとく迫ってくる。

大会はトーナメント制なので勝てば勝つほど僕は苦しめられる。だから、僕は負けてしまった。あっさりと。体力のなさを無理矢理理解させられ、負け犬のような屈辱を味わい、独り、トイレで泣いた。

10月31日 月曜日

10月が終わり、今年も残るは11月と12月だけとなった。高校1年生になってからまだ半年と少ししかたっていないというのに、思い出が沢山作れた。・・・作れた？一生懸命思い返そうにも記憶がない。なんだろう、すごく楽しかったことつらかったこと、くやしかったことうれしかったことetc.etc.があったはずなのに、ない。心にぽっかりと穴が開いたような。

過去をどこかに押し退けてしまったのだろうか？

苛虎？いやいやいやダメダメメー！！（´・`） モウダメポ

冗談はさておき、だけど一体僕の記憶はどこに行ってしまったのだろうか？考えてみてもさっぱり分らない。

11月（上旬）（前書き）

10日から数日が経過していましたm（  
—  
—  
）m

## 11月（上旬）

11月1日 火曜日

今日、英語の模試のようなテストがあった。結果は最悪。

日本人だからいいやゝなんて言い訳はしたくないけれど、すごく難しかったと感じたのは僕だけではないはずだ。

11月2日 水曜日

水曜日の授業選択には『音楽』がある。先週に引き続き『椿姫』の映画、オペラの映像を観賞した。映画では場面に合った場所で撮影出来ること、ズームインやズームアウト、様々なエフェクトをつけられていた。逆にオペラの方では同じ舞台の上で演じているのにも関わらず、大道具や照明などの演出によって舞台が違う所に変わっている感じがした。特に遠近法の利用の仕方が当時の技術でも十分に素晴らし具合いで観客に対して効果を与えていることが分った。

ちなみに授業選択とは芸術科目の『音楽』『書道』『美術』の中からひとつ選び、1年間教わるというものだ。なぜ『音楽』にしたのかというと、僕はギターを少しだけかじっているからだ。

小学生の頃に知合いからアコギをもらいそれ以来ずっと触っているのにあまり上達の兆しが見られない・・・ちょっとショックorz

11月3日 木曜日 文化の日

今日は世間的に言う国民の祝日なのだが、明後日に控える模試対策の講習があった。

1限目は古典、僕のいる学年には国語の先生は2人いて1人はオジ

キ、もう1人はごく小数から陰でラバと呼ばれている先生で今回の講習ではこちらの先生がご教授なさる。

基本的にプリントを解きその解説のスタイルで、大事な箇所になると声が大きくなるのでどこが重要なかがはっきりしていて好きだ。

2 限目は英語、先生はバレエ部の顧問で本日不在。なので他の学年の先生が代理として来た。名前は知らないが僕はこの先生が以前からよく見かけた（同じ学校にいるのだから当然か・・・）。下校の時、バス停で待っている姿やバスの中で携帯音楽プレイヤーを聴いている（多分英語関係のやつ）姿 e t c . e t c . いつもシブめのオジサマというイメージがあり、やはりその通りだった。

3 限目は数学、残念ながら半分以上寝てしまいました。

m ( o | o ) m

その後、1時から部活が始まり2刻半ほどの間ずっと筋トレした。部活終了後、近くの古本屋さんに寄って、たまたま『ホームクルス』を読んだところすごくおもしろかった。頭蓋骨に穴を開けた主人公は第六感を目覚めさせる！？みたいなそんな感じのストーリーだと思います（間違っていたらすみません）。

m ( o | o ) m

11月4日 金曜日 明日模試

最近、同じクラスの子（腐）にやたらBL本をすすめられる。とりあえず借りてみることにした。

11月5日 土曜日 模試

いや、難しすぎるよ。まじで。解らなさすぎて、英語の時間半分以上寝ちゃったし・・・！ああもう乙った感満載だからなにもかも

どうでもよくなってきた。

11月6日 日曜日 部活なし

ああ平和って素晴らしいけれど、やっぱり物語のような展開を期待するわけでありまして、女の子と仲良くなりたいです、はい。そんな現実非現実を懂れる僕はギターを抱えながら1人寂しくチャカチャカと鳴らす。もしかしたら、もしかしたらと心の中で幾度も呟きながら。

フラグが立つた！なんて聞こえは良いけれど、實際思つていたより大変だった。僕のことを好きな女子がいる（らしい）のだが、クラスの人から茶化されるばかりであまり気分は向上しない。むしろ恥ずかしい。

まう。

「照れてる照れてるうゝゝゝ」

違うわい、君達と話していることで僕はどきどきしているんだよ！  
なんて心の叫びは届きません。

11月8日 火曜日

今日は部活定休日！！

最近、Aさんと話していないなあゝ  
会いたいなあゝ色々と話したいなあゝ声を聴きたいなあゝ

11月9日 水曜日

今日、音楽の授業でシューベルトの『鱒』『菩提樹』を聴いた。  
先生が話していたピアノによる情景描写（でいいのかな？）は聴いている人にその光景を脳裏に直接届けているような感じがした。

11月10日 木曜日

それは突然のことだった。今日、クラスの女子に誤って小説を書いていることを話してしまった！！この日記や他の小説とはとうてい呼べないただの文章、いや文字の羅列を読まれてしまうorz内心ビクビクしていたが、部活の時にはすっかり忘れていた。なぜならば、

今日の部活は大変だった。

部活1体力の乏しい僕は少し走ったりするだけで疲れてしまうとい



うのに、練習メニューではコートの中を駆け巡った。それを5セット以上。気がつくとももはばんばんになっており動くのも億劫な状態。

だけど、ゲーム練習が出来ると分かった途端、さっきまでの疲労がなくなり頑張るぞー！！という気持ちで一杯になった。それにAさんもんばん見ておるし、カッコイイとこ見せてやりたいな、、なんてちよつと顔が紅くなる。そんな1日。

## 11月（中旬）

11月11日 金曜日

今日はなんの日でしょうか

ポツキーの日！      それも正解です。

ノベंबर  
NOVEMBER - 11      確かに      DARKER THA  
N BLACK - 黒の契約者 -      の登場人物も正しいと思います。

あずにゃん の誕生日！      僕も心から御祝い申し上げます。

一体なんなのさ？ 答えは！？      ある先生曰く、電池の日です。

なんで電池の日なのさ！？      漢字表記にすると

十一月十一日つまり+ プラス - マイナス が並んでいるよう  
にも見えますね。

ひと捻りされている訳ですね！      そういうことです。

11月12日 土曜日

今日は11月講習があつた。国語、英語、数学、の順番であつた。  
英語の時間、本来の先生が部活の大会があるため不在、代理に他の  
先生がきた。その先生はシブ目のおじさま。以前、書いたかもしれ  
ないが憶えてないので・・・話し方も特徴的で僕はこのおじさまが  
大好きだ。

その後、部活。

11月13日 日曜日 バドの大会

大会がまたむこうからやってきた。今回は相方をチェンジしてみたの参加であつた。シングルスは参加しない、なんでだろ？

朝、会場でトーナメント表をうけると、絶句した。勝ち進むといきなり強い人にぶつかる、しかも2年生・・・これは、ないな...と一瞬で暗い気分へ急転直下した。

1回戦目は相手が初心者のように難なくクリア、問題は次だ。試合のコールがただただ僕のカウントダウン式の死亡宣告に聞こえ、今この場から脱出し家に帰ってゲームでも・・・なんて妄想は、

「 高校対 高校の試合を7コートで行ないます」

Goodbye、大好きなAさん。僕は無様にもヒドイ醜態を周囲に晒しながら嘲笑や罵倒をシャワーのように浴びせられながら、必死に、懸命に、試合にしがみつきます。なんでそこまでするかって？やっぱりバドミントンが好きだからです。

バドミントンはスポーツです。決して相手を罵倒や嘲笑、けなすなんてことは一切ありません

そんなこんなで僕は2回戦目のコートにDARKER THAN  
BLACKな気持ちで赴いていると、相方が

「対戦相手の1人はヤベーぞ。なによりデカイ、それにノーモーションで打ってくるからどこに飛ばしてくるのかわからん」 おい  
おい、プレッシャーをかけないでくれよ・・・

だけど、会って直感した。コイツは絶対に敵にしていけないヤツだと。伸長が高くガタイが良い。さらに空手をやっている（伝聞・推定）のだ。

そして僕にとって悪夢のような試合は始まった。  
まけたけど。ウソだけど。

11月14日 月曜日

今日席替えをした。

まあまあな位置。

悪くはない位置。

周りは女子6割、男子4割と若干 女子分多めの位置。

11月15日 火曜日

今日、看護の歴史について少しばかり学んだ。

よりいっそう看護師に憧れた。

だけど学力が足りない。

つらいつらい現実という名の壁が立ちはだかる。

11月16日 水曜日

僕が彼女に初めて出会ったのは入学式の日だった。運命的なものは一切なく、普通の普遍的ありきてりのボーイ・ミーツ・ガールだった。

僕は恋に落ちた・・・！！なんてことはなく　かわいいなあ  
ーと最初は思っていた。

高校生とは出会いの場でもあるようで、Aさんと話す機会はそれなり、いやかなりあった。

幾度か話をしているうちにAさんに対する気持ちは変わっていった  
移動教室の時はすれ違わないかと期待したり  
ほんの少しの道のりを少しでも長く話せないかなって悩んだり  
家に帰ってから電話かけようか迷っていたり・・・

透き通っている凜とした声が好きだ  
よく真っ赤になる豊かな表情（？）が好きだ

僕はただただそういう感情をただただAさんに抱いていた

そんな高校生日記

11月17日　木曜日

今日、予防接種を受けると左腕がはれてしまったorz  
当然部活は休むことにし、文芸部の方に顔を出すことにした。

文芸部の皆さんは常にハイテンションでありまして、僕はとても困る。

でも楽しい。こういう日記のようなものを読んでいただき感想を言  
つてくださる。  
とてもうれしい。

今日僕の住んでいる地域で雪が降った。今年の初雪であるのかな？  
残念ながら降ったのは夜中のことで見ることは出来なかった。朝方  
にはぐじょぐじょにメルトしていて残念であった。

11月18日 金曜日

昨日、降った雪が氷りづけになっていて登校するときスリップしそ  
うで危なかった。

24時間前に打った注射の所為か、1日中気分が優れなかった。

11月19日 土曜日

夜中から雨が降り昨日一昨日と一生懸命に自分の陣地を広げること  
に努めていた雪&氷が跡形もなく消え去りました。

今日、講習があった。高校に入学してからというもの、  
幾度も幾度も講習を経験してきたが、やっぱりなと言いますか、  
やるのであれば毎週やってほしいと思います。はい。僕は講習に賛  
成派なのです。なぜなら授業の復習や応用・発展を教えてくださいさる  
ので、

より勉強が身につくからです。でも先生方は忙しい身、残念なこと  
にそうはいかないのです。

11月20日 日曜日

やっと『ぼくは委員長』を書き終えることが出来ました。

え、なにもしろくない？はい、そうですね……

自分でも結局なにを言いたかったのかよくわかりません。

それでもお読みになってくださった方に心より感謝の言葉をもうしあげます。

本当にありがとうございました。

今日はバドミントンの団体戦がありました 僕は応援だけです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7585w/>

---

高校生日記

2011年11月21日09時46分発行